

令和3年 労働者死傷病報告受理件数表

令和3年6月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		1	1					1	3		3
	食料品製造業	30	129	29	63	6	20	7	284	291	-7
建設業		2				2			4		4
	木造家屋等建築工事業	31	54	9	13	7	6	5	125	92	33
運輸交通業			1						1	2	-1
	道路貨物運送業	21	64	5	21	5	6	1	123	135	-12
林業									1	2	-1
	飲食店	18	60	5	21	4	6	1	115	126	-11
小売業		2	2	3		1	2	3	13	14	-1
	社会福祉施設	22	38	14	25	2	5	4	110	111	-1
接客娯楽業		24	52	17	14	3	10	3	123	60	63
	飲食店	12	10	3	8	9	3	9	54	57	-3
上記以外の事業		1							1		1
	清掃・と畜業	36	132	21	38	7	9	15	258	212	46
計		1							1		1
		4	2			2		1	9	3	6
前年同期	178	481	101	182	40	61	47	1,090	972	118	
増減	2	2		-1	2		1	3			
	-28	113	49	-25	-20	19	10	118			

災害の種類別

災害の種類別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の型別	墜落・転落	35	63	17	23	8	8	10	164	147	17
	転倒	36	81	19	39	15	10	11	211	230	-19
	はさまれ・巻き込まれ	1						1	2		2
	切れ・こすれ	20	49	9	21	4	9	4	116	140	-24
	動作の反動・無理な動作	9	24	5	15	3	1		57	61	-4
起因物別	建設機械等	1							1		1
	食品加工用機械	6	5	1	1		1	1	15	9	6
	トラック	4	12	2	1				19	13	6
外国人の災害	1							1	1		
建設公共工事の災害		9	38	2	10	2	4		65	64	1
		1				1		3	2		2
	6	7	2	1	1	2		22	9	13	

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

令和3年 死亡災害発生状況

令和3年6月末現在
群馬労働局

	令和元年	令和2年	令和3年	対元年比	対2年比
製造業			3	3	3
建設業			4	4	4
運輸交通業	3	2	1	-2	-1
林業		1			-1
商業	2			-2	
接客娯楽業					
その他	1		1		1
計	6	3	9	3	6

令和3年 死亡災害事例

令和3年6月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 21時頃 1～9人	70歳代 作業員	倉庫2階において、天井クレーンで凍結防止剤を散布車へ積込む作業の準備中に、搬入口の開口部（高さ4.4m）から墜落した。	土木工事業	墜落、転落	開口部
2	1月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	高速道路のインターチェンジ出口付近の伐採作業現場において、撤収作業のため高所作業車の後進を誘導していた被災者が同車に轢かれた。	土木工事業	交通事故 (道路)	高所作業車
3	1月 11時頃 1～9人	20歳代 土工	浄化槽埋設のための掘削作業において、打設した鋼矢板の一部が傾いてきたので、当該鋼矢板を一旦外し、掘削部内で2名で地ならしをしていたところ、地山が崩壊し、1名が全身埋まり、もう1名が膝まで埋まった。	土木工事業	崩壊、倒壊	地山、岩石
4	1月 8時頃 1～9人	20歳代 運転者	木造住宅新築工事現場において、搬入した建材（約縦300×横90×厚1cm）35枚の束（ラップで結束。重さ約350kg）をナイロンスリング2本を使用してホイールクレーンのフックに玉掛けし、荷台上で介添えをしようとしていたところ、つり荷が背部、頭部に激突した。	道路貨物 運送業	激突され	木材、竹材
5	3月 16時頃 10～29人	30歳代 作業員	コンクリートブロック成型機の型を代えるため、エアを抜いてボルト締めをしていたところ、成型機上部が下降し、成型機上部と下部の間に頭部が挟まれた。	窯業・ 土石製品 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
6	5月 13時頃 10～29人	70歳代 土工	S造2階建て新築工事において、ドラグ・ショベルで碎石の山を移動させていた被災者が降車し、当該ドラグ・ショベルのアーム等の様子を確認していたところ、別の作業員が後進させたダンプトラックのあたりとドラグ・ショベルのアームとの間に胸部、頭部を挟まれた。	建築工事業	激突され	トラック
7	6月 10時頃 100～299人	30歳代 鍛造工	ショットブラスト機で、鍛造前の材料をブラスト処理する作業において、付属の巻上装置にて材料の入ったバケットをつり上げ、材料を投入口に自動搬送していたところ、投入口付近を覗き込んでいた被災者が、ショットブラスト機の扉とバケットに頭部を挟まれた。	製鉄・ 製鋼・ 圧延業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 金属加工用 機械
8	6月 14時頃 30～49人	40歳代 作業員	天井クレーンを使用して、鉄鋼スラグの入っている容器「スラグパン」をつり上げたところ、スラグパンが振れ、隣接のスラグパンとの間に頭部をはさまれた。	その他の 鉄鋼業	激突され	クレーン
9	6月 11時頃 1～9人	50歳代 運転者	堆肥で使用する木くずを運送するため、トラックを運転して県道を走行中、急カーブを曲がり切れず、ガードレールを突き破って、20m下の国道に転落した。	産業廃棄物 処理業	交通事故 (道路)	トラック